



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720



会長 衛藤祐介
幹事 中山省悟

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー
第 2720 地区ガバナー
膳所 和彦
大分第 4G ガバナー補佐
吉良 昌一



CREATE HOPE
in the WORLD

世界で希望を生み出す

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン「委員会の活性化」

地区スローガン

ロータリーは学び舎であり、また遊び場である
そして今、ロータリーアクションは世界を変える。

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	10月4日					9月13日				
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席者数	補欠数	修正出席率	
	32名	25名	78.13%	1名	0名	32名	24名	0名	75.0%	

編集担当

10月 眞上 晋
11月 松田尚美
12月 村上智貴

例会日 水曜日 12:30~13:30 事務局 〒870-0021 大分市府内町トキハ会館 4 階 Eメール
例会場 ホテル日航大分オアシスタワー TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 ホームページ

oitajosairc@mist.ocn.ne.jp
http://oitajosairotaryclub.com

2023-2024

第 11 回例会

地域社会の
経済発展月間

10月18日 No.1537

◆本日のプログラム

12:30	点鐘
	ロータリーソング「まわせ歯車」
	ゲスト・ビジターの紹介 衛藤祐介 会長
	会長の時間 衛藤祐介 会長
	出席報告及び幹事報告 中山省悟 幹事
	ロータリー情報 R 情報担当委員
	委員会報告 各 委 員 会
	スマイルボックス 親 睦 担 当
13:00	吉岡尚美 会員 (特定非営利活動法人 リラクセーション桜)
	「経営者とメンタルヘルス」

◆今週のお祝い

●会員誕生日	伊東眞知子会員 10月19日
--------	----------------

◆幹事報告

・10月のロータリーレートは1ドル=149円。
・ガバナー月信を回覧。

◆ゲスト・ビジターの紹介(10月4日)

●ゲスト	アマルジャルガル アナーさん (米山奨学生)
------	---------------------------

◆今後の例会予定

●10月25日	会員増強親睦夜例会
●11月1日	定款第7条第1節に基づき例会取り止め
●11月8日	地区補助金プロジェクトについて
●11月12日	野外家族例会 第1回大分城西 RC 自給自足大会
●11月15日	11/12(日)に例会変更
●職業奉仕 3分スピーチ	
本日は、河野会員。 今後の予定 (11/8)岩田会員 (11/29)首藤会員	

◆スマイルボックス

中村哲弥会員(大分中央RC) 5口

日頃より大変お世話になります。吉岡尚美様 先日は大分舞鶴高等学校インターアクトクラブへ卓話のご参加頂き、心より御礼申し上げます。突然の卓話のお願いにも、インターアクト生のためにと資料などもご用意頂き心とむ卓話を頂き、心理学の社会活動の重要性を感じた時間となりました。ロータリアンの卓話参加は御礼がありませんので、私のほうから城西クラブ様へスマイルさせていただきます。本当にありがとうございました。

◆ロータリーの友 10月号紹介 芳崎 一郎会員

P5 RI 会長メッセージ
P7 特集 地域社会の経済発展
若者たちの自立促す支援のカタチ
P24 Shape-shifting Singapore
変貌し続けるシンガポール
P64 この人訪ねて 井上百百合さん(日田 RC)
故郷・日田の風土に根差す酒を造る
女性杜氏にして老舗 7 代目蔵元

◆委員会報告

奈須敬司環境保全リーダー

野外家族例会（社会奉仕委員会 環境保全主催）
第1回大分城西ロータリークラブ 自給自足大会
【日時】2023年11月12日（日）9時半集合

※雨天時は中止

【場所】由布市湯布院町塚原
 （無印良品の家 大分店様隣接地）

【タイムスケジュール】

9:30	集合（塚原高原）
10:00～12:30	競技
12:30～14:00	実食・審査
14:00～14:30	結果発表・表彰
14:30～15:00	片付け
15:00	解散

【参加費】会員・参加家族1名につき1,000円

◆会長の時間（10月4日） 会長 衛藤 祐介

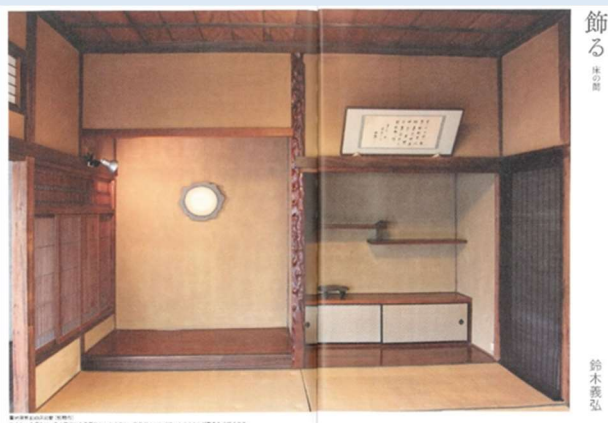
『飾る…重光葵(しげみつまもる)の床の間』

これは、私の友人でもある大分大学の鈴木義弘教授の書いた「和室礼賛」という本からの知識です。

『飾られた空間に眩暈を覚えることがある。目を見張る美しさだからではなく、必然的場面に遭遇した目撃者のような僥倖感(ぎょうこうかん)。ある床の間でも、ひとつの「出会い」がうまれた。』

重光葵。戦艦ミズーリで太平洋戦争の降伏調印を行った日本全権の外務大臣であり、第一次上海事変の停戦交渉中のテロにより右脚を失った逸話も有名です。

重光が、その療養にあたり、彼の故郷に近い別府市ヘリハビリに訪れた時に知り合ったのが、天皇の料理番で知られる宮本四郎シェフ(レストラン東洋軒)でした。その後も二人の交友は深まり、重光帰郷時のために宮本が入手した家が、この「重光葵別荘」でした。



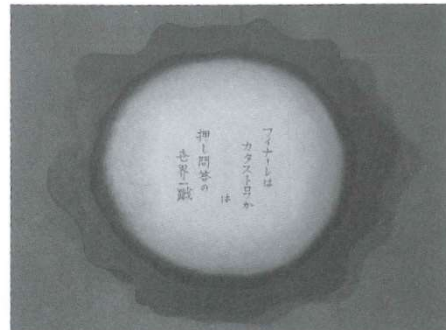
2020年、その床の間にある作品が飾られました。佐藤俊造という無名の画家によるもので、農作業をしながら、大分県日出町のアトリエで、ひとり黙々と二百点を超える作品群を製作していました。彼の没後10年、県内全域百か所以上で彼の作品を一点ずつ展示する「佐藤俊造一点美術展」が開かれます。寺院、旅館、カフェ。あらゆる場所に展示された作品の中で、地味でどの会場にも合致しない小品「ひまわり」がゆく当てもなく残されていました。

床の間の土壁なればこそ馴染む素材感、中心には重光の生き様を表しているかのような詩が記され、「ひまわり」という語句だけが黄色い文字になっています。(向陽葵)

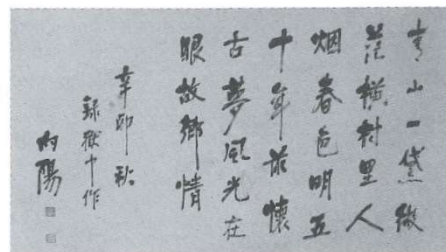
床の間はかくあるべきという伝統的な形式や作法がありま

すが、それを超越して佐藤俊造の絵が掛けられたまさにその瞬間、重光葵との出会いが実現したのです。

この重光葵別荘がどこに建っていたのか地元でも口伝が途絶えていました。ある日、若き大工でもある女性建築士が現所有者と知り合い、それを聞き知った写真家・藤田洋三(彼は以前城西ロータリークラブでの卓話に来てもらったことがあります)が数年前に「再発見」したもののなのです。



佐藤俊造「ひまわり」
 「フィナーレは カタストロフか ひまわりは 押し問答の 世界一獄」



重光葵 獄中での書 号は「向陽」

飾ること、それを鑑賞することは、背景にある森羅万象の一端を、関係者らがそれぞれに共有するということでしょう。一(いち)床の間が時空を超えた人と人との結びつきを演出してくれたのです。建築はこのように、和室とか茶室のしきたりや作法を超えて、時空を超えた人々を結びつける不思議な力を持っています。私たちも昔ながらの伝統は大切にしつつ、それを超越する自由を手にする必要があります。

◆卓話の時間 米山奨学生の卓話

アマルジャルガル・アナー さん

『私のことをもっとよく知しましょう』



アマルジャルガル アナー
 2001年08月24日：22歳
 モンゴル人
 立命館アジア太平洋大学・環境開発

どうやって日本に来たのか？

流れ



平和+幸福=

アマルジャルガル
 アナー



私が行った場所



家族



父はアメリカで大学院：MS
植物経済学



妹はアメリカで生まれました



私の姉妹は現在ニューヨークに住んでいる。姉は社会人、妹は大学に入学したばかりです。

アメリカ



モンゴル

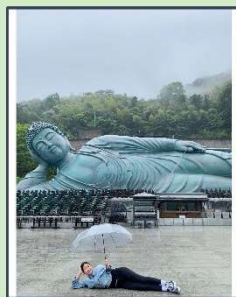


なぜ日本？

- 理由：
- アメリカ以外開発した国
 - 2016年1ヶ月間：鳥取県にホームステイ
 - 日本人のマナー、真面目さ、人々と環境の尊敬
 - きれいな環境
 - APU：日本に英語で勉強する機会
 - 母国のために日本から勉強することが多い！

カルチャーショック：

- 自動販売機
- 公共交通機関
- 温泉



日本の文化と伝統



APUの学生と先生

大津インターンシップ生

ロータリーの交流



多くのことを得た

コミュニケーション

- 素晴らしいスキル
- 日本語で伝えられるようになる
- モンゴルや気候変動、環境について話し合う機会
- 深く重要なトピックについて話し合い
- ロタリー米山記念奨学生としての生活で得た最も重要なものでした

コミュニティ

- 以前のロータリーの標語は「IMAGINE ROTARY」でした。
- 今は「世界に希望を生み出そう」だ。
- これらの強い目標に参加し、そこから学び、自分の知識を母国のモンゴルの発展に役立てることができることに感謝している。
- 前向きな変化を促す地域社会の一員になるという目標は達成できたと思う。

力強い経験

- 昨年日本に来たことで、私の人生は変わり、成長することができた。
- 経済的に自分の面倒を見る方法を学び、目標と情熱を持った大人になり、リーダーになることを学んだ。
- 知識と経験はさらに深まった。
- これらの経験を将来のキャリアに生かし、世界を積極的に変えていきたいと考える。

私の将来と夢：母国の発展

興味のある主題



Food Resiliency

What is it?
Food resiliency refers to the ability to withstand and recover from disruptions in a way that ensures a sufficient supply of acceptable and accessible food for all.
Food insecurity: the condition of not having access to sufficient food, or food of an adequate quality, to meet one's basic needs.

Mongolia's Situation

28.4%	live in extreme poverty
55%	overweight, 30% obese
1/4	experience moderate/severe food insecurity
49%	greenhouse gases come from the agricultural sector
72%	households in Mongolia had to compromise on food during the COVID-19 crisis

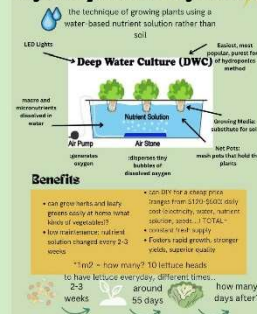
Necessary Diet

- vitamins, vegetables, fruits, lean proteins
- minerals, vegetables, fruits, grains, red meat, dairy
- proteins and meats, poultry, fish, beans
- fats, nuts, fish, vegetable oil, seeds
- carbohydrates, brown rice, vegetables, oatmeal
- water

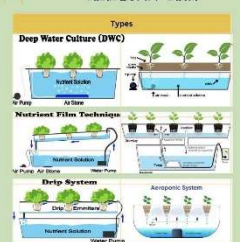
食料不安：
基本的なニーズを満たすのに十分な食べ物や十分な量の食べ物を手に入れることができない。

- | | |
|-------|--|
| 28.4% | 極度の貧困にあえぐ |
| 55% | 体重超過、20%が肥満 |
| 1/4 | 中程度または重度の食糧不足にある |
| 49% | 農業セクターから温室効果ガスが発生している |
| 72% | COVID-19の期間中、モンゴルの家族は食料を妥協しなければならなかった。 |

Hydroponics System:



水耕栽培システム：土壌ではなく水ベースの養液を使用して植物を栽培する技術



過去、現在、将来の関係



実現: 環境問題、気候変動とか開発した国、途上国関係なく、世界に影響している。

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

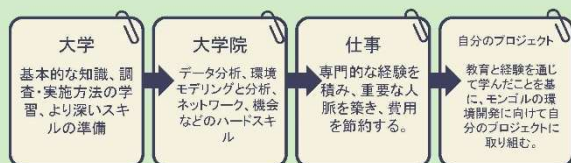
Rotary



世界を変える

- 私は一人だけで、世界全体を変えることはできません
- ですが、自分の世界は変えられる

どうやって？



頑張ります！

質問あったらぜひ聞いてください
ありがとうございました！

◆第4回理事会議事録

1. 今後のプログラム

10月

10/4 米山奨学生(アマルジャルガル・アナーさん)卓話

10/11 定款第7条第1節に基づき休会

※9日体育の日

10/18 ゲスト卓話 鷲野祐子様

10/25 親睦夜例会(会員増強)

…候補者10人の参加を行えるよう取り組む

11月

11/1 定款第7条第1節に基づき休会

※3日文化の日

11/8 地区補助金 PROJについて

11/12 野外家族例会 自給自足大会

11/15 休会

11/22 定款第7条第1節に基づき休会

※23日勤労感謝の日

11/29 吉岡会員卓話

12月

12/6 年次総会

12/13 クラブ協議会①

上半期の反省と下半期の取組み

12/17 クリスマス家族例会

12/20 休会

12/27 定款第7条第1節に基づき休会

2. 次年度地区委員の推薦について

次年度は当番クラブであるため、今年度の地区委員が引き続き役をし、新たに推薦は行わない。

3. 次年度理事会の指名委員会について

①指名委員と指名委員長

指名委員: 寺崎会員・岩尾会員・眞上会員・村上会員

工藤会員・佐藤俊治会員(委員長)・衛藤会長・中山幹事

②指名委員会開催日 11/29の例会後

(12/6の年次総会で決定事項を発表する。)

4. 地区補助金プロジェクト報告等

今回のプロジェクト定例会

日時: 10月17日(火)19:00~21:00

場所: (株)アクティブコミュニケーションズ

その他: RIより地区補助金承認連絡書が届いた。

5. ウクライナ支援について

当初、ウクライナへ車椅子を送る予定であったが、日本から送ると送料が高く現地調達の方が安いとのことで、武居会員が調査した結果、チェコのロータリークラブに現金を送るのが一番効率的で、確実に届く方法だということ。

※チェコ共和国からは積極的な軍事支援・人道支援が行われており、チェコロータリアン(第2240地区)から被災者のために医療機器・医薬品・食料等の物資を購入し支援している。

今回、マクドナルドの食事分を含め、会員から寄付を募り、車いすに限らず、人道支援のための資金を寄付する方向で検討することとした。

6. 今年度のクリスマス例会について 河野会員より

・プレゼント交換は行わない

・出席者全員にお土産は例年通り準備する

・エンターテインメント性を強く出し、会場の雰囲気も常に音楽や映像を流してにぎやかにする。

(全員カチューシャをつける etc..)

7. 親睦夜例会(会員増強)10/25について

現在、6名決定あと4名の参加を目指す

◆年次総会での指名について

会長 衛藤 祐介

次年度クラブ役員の年次総会での指名について、指名委員会で決定させていただき、例会場にてご賛同いただきましたので、11月中に指名委員会を開催致します。